

令和7年度芦安小学校（前期）学校評価「教職員自己評価」の結果と考察について

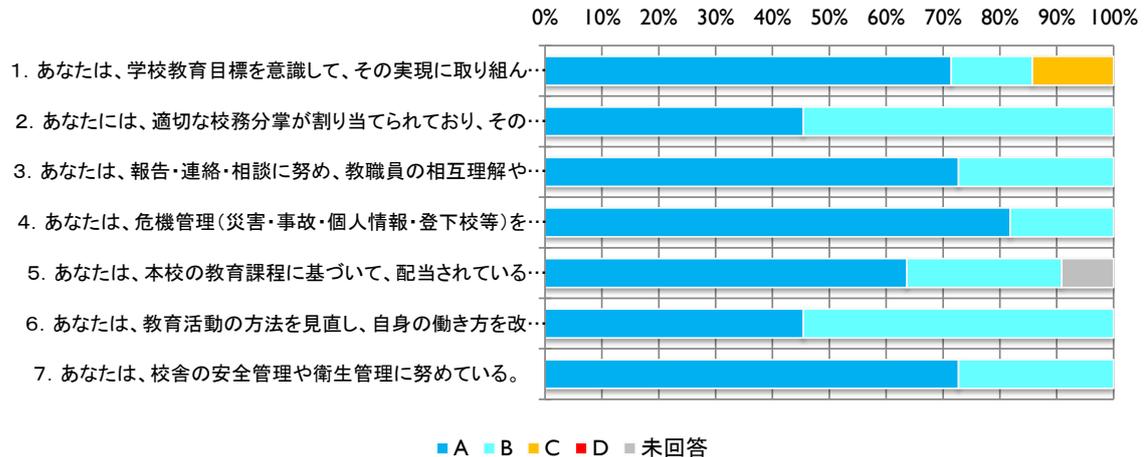
評価基準 A：そう思う B：ややそう思う C：ややそう思わない D：そう思わない 1.1名回答

評価点数 A：4点 B：3点 C：2点 D：1点

I 学校運営・学校経営

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	評価	昨年度評価
1. あなたは、学校教育目標を意識して、その実現に取り組んでいる。	5	1	1	0	0	3.6	3.5
2. あなたには、適切な校務分掌が割り当てられており、その校務分掌を通して意欲的に学校運営に参画している。	5	6	0	0	0	3.5	3.5
3. あなたは、報告・連絡・相談に努め、教職員の相互理解や信頼関係が深まるよう努めている。	8	3	0	0	0	3.7	3.6
4. あなたは、危機管理（災害・事故・個人情報・登下校等）を意識した教育活動にあたっている。	9	2	0	0	0	3.8	3.3
5. あなたは、本校の教育課程に基づいて、担当されている授業時数を確認しながら、適切に教育活動を進めようと努めている。（保健指導・給食指導・図書指導等も含めて）	7	3	0	0	1	3.7	3.6
6. あなたは、教育活動の方法を見直し、自身の働き方を改善しようと努めている。	5	6	0	0	0	3.5	
7. あなたは、校舎の安全管理や衛生管理に努めている。	8	3	0	0	0	3.7	3.7

I 学校運営・学校経営



○自由記述

なし

○自己評価（達成状況・改善策）

○全体的に肯定的な回答が多く、昨年度同時期に比べ、0.1～0.5ポイント上回っている。特に「4. あなたは、危機管理（災害・事故・個人情報・登下校等）を意識した教育活動にあたっている。」の項目において、普段の様子からも熱中症対策、災害時の備え、個人情報管理、児童の登下校への付き添いの実施等、教職員の危機管理意識が高いことが伺える。今後も学校の教育活動への安心安全を守るために普段の生活においても常に危機管理意識を高くしていきたい。

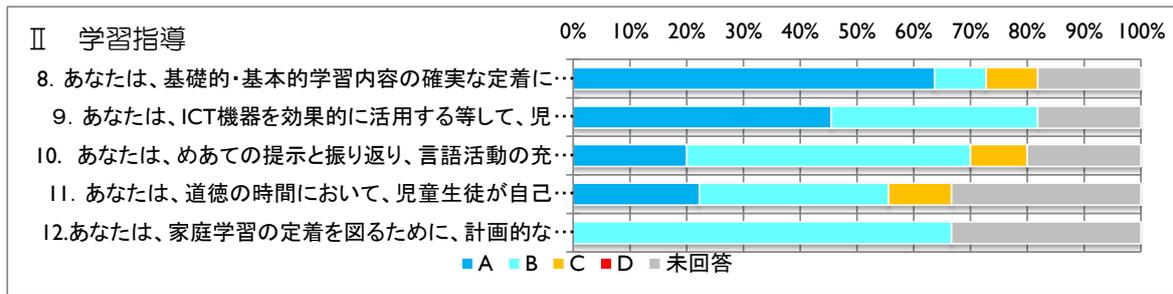
○「3. あなたは、報告・連絡・相談に努め、教職員の相互理解や信頼関係が深まるよう努めている。」の項目の結果からも伺えるように、普段より管理職や職員への報告・連絡・相談の徹底することによって、共通理解・共通認識を深めることができていることは、喜ばしい。今後も「報告・連絡・相談」の徹底に努めていきたい。

○項目6の「自身の働き方の見直し」については、教職員の意識は高まりつつあるが、更に自身の働き方改革を進めていきたい。また、校内での「働き方改革」を推進していく。

●項目2の校務分掌の割り当てについては、小規模校で一人が抱える仕事量が多くなってしまふことは、致し方がない部分もあるが、仕事量の多い分掌は、複数の職員で行うことが望ましいではないかと考える。

Ⅱ 学習指導

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	評価	昨年度評価
8. あなたは、基礎的・基本的学習内容の確実な定着に努めている。(児Ⅱ-7・保Ⅱ-12)	7	1	1	0	2	3.7	3.4
9. あなたは、ICT機器を効果的に活用する等して、児童生徒一人一人の実態に応じた指導・支援に努めている。	5	4	0	0	2	3.6	
10. あなたは、めあての提示と振り返り、言語活動の充実を行い、児童・生徒の主体的な学びに繋がる授業実践に努めている。	2	5	1	0	2	3.1	3.1
11. あなたは、道徳の時間において、児童生徒が自己の生き方を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることを意識した授業づくりに努めている。	2	3	1	0	3	3.2	
12. あなたは、家庭学習の定着を図るために、計画的な家庭学習の手立てをしていますか。	0	6	0	0	3	3.0	2.8



○自由記述

学級担任ではない。教諭ではない（未回答の理由）

○自己評価（達成状況・改善策）

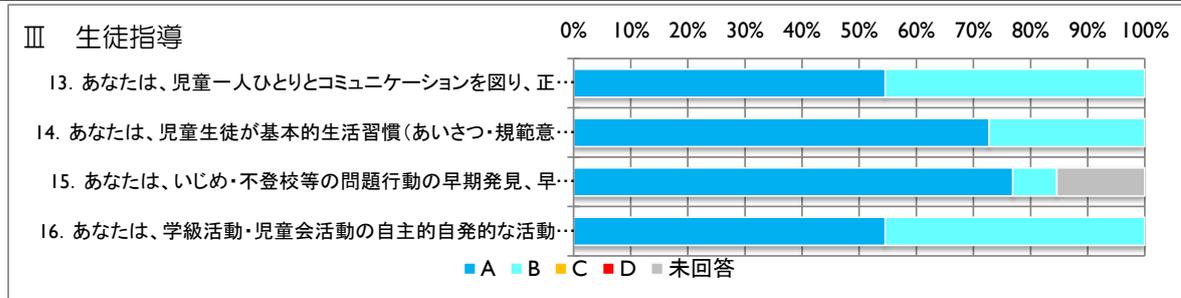
○「8. あなたは、基礎的・基本的学習内容の確実な定着に努めている。」においては、児童アンケート「児Ⅱ-7」と保護者アンケート「Ⅱ-12」の項目に繋がる項目であるが、教職員の自己評価と保護者の評価は、どちらもポイントが高かった。このことから、日常の授業において、教職員が児童に対して基礎学力が身につくように分かりやすく丁寧に教えている成果が伺える。

○「9. あなたは、ICT機器を効果的に活用する等して、児童生徒一人一人の実態に応じた指導・支援に努めている。」の項目においては、アンケート結果からも分かるように、日常の授業において、必要に応じて活発にクロームブックの活用が行われていることは、喜ばしい。今後もクロームブックを積極的に活用し、児童生徒一人一人の実態に応じた指導・支援に努めていきたい。

●項目12「家庭学習の定着」については、教職員は、家庭学習の定着を図るために、計画的な家庭学習の手立てをしているものの、児童・保護者のアンケートからは、宿題以外の学習についてはできていない児童が多いことが伺える。そもそも保護者や児童が家庭学習を必要としているのか、また、学校としては家庭学習について、どうとらえていくのかをまず考える必要がある。もし、家庭学習の習慣を身に着けさせるとしたら、学習方法等についてや家庭学習をする意義を、児童に伝えながら、進めていく必要がある。

Ⅲ 生徒指導

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	評価	昨年度 評価
13. あなたは、児童一人ひとりとコミュニケーションを図り、正しい児童理解や共感的理解に努めている。「児・保Ⅰ-4」	6	5	0	0	0	3.5	3.6
14. あなたは、児童生徒が基本的生活習慣（あいさつ・規範意識・責任感・規則正しい生活等）を身につけられるよう、指導に努めている	8	3	0	0	0	3.7	3.7
15. あなたは、いじめ・不登校等の問題行動の早期発見、早期対応に努め、組織的に対応しようと努めている。	10	1	0	0	2	3.9	3.9
16. あなたは、学級活動・児童会活動の自主的自発的な活動を促し、児童の「心の居場所づくり」となる学校、学級づくりに努めている。	6	5	0	0	0	3.5	3.5



○自由記述

なし

○自己評価（達成状況・改善策）

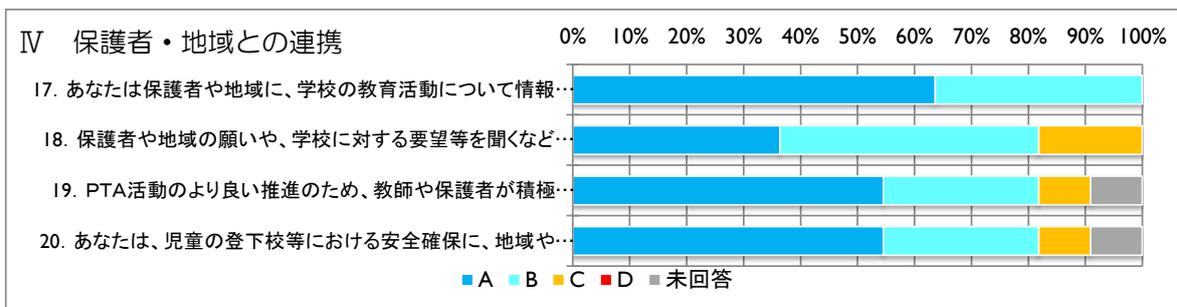
○すべての項目で肯定的評価が多い。特に「15. あなたは、いじめ・不登校等の問題行動の早期発見、早期対応」についての結果からも分かるように、意識が高い教職員が多く、普段の生活の中でも児童同士のトラブルには、素早く丁寧に対応することができ、大きな問題へと発展しないうちに解決できていることは、喜ばしい。また、不登校の児童や特性を持つ児童への対応は、SCなど専門家との連携をはかりながら、対応を行ってきた。具体的には、SCから教職員がコンサルテーションを受け、対応を検討し、共通理解を図りチームで対応することができた。

○「13. あなたは、児童一人ひとりとコミュニケーションを図り、正しい児童理解や共感的理解に努めている。」の項目は、児童アンケート「Ⅰ-4」と保護者アンケート「Ⅰ-4」の項目に繋がり、いずれも高ポイントであった。アンケート結果からも伺えるように、本校は、小規模校の利点を活かし、全校児童に多くの職員が声をかけながら、それぞれの児童のよさを認めていく雰囲気があるので、それを継続していきたい。

○「14. あなたは、児童生徒が基本的生活習慣（あいさつ・規範意識・責任感・規則正しい生活等）を身につけられるよう、指導に努めている。」の項目は、児童アンケートⅣの項目と繋がっている。教職員の指導は、肯定的な回答が多いが、児童のアンケート結果を見ると、「ややそう思わない」「そう思わない」と否定的な回答の児童が数名いる。今後学級活動や児童会活動において、このような否定的な回答をした児童も自主的自発的に基本的生活習慣を身につけることができるよう仕組んでいく必要があると考える。

IV 保護者・地域との連携

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	評価	昨年度評価
17. あなたは保護者や地域に、学校の教育活動について情報の提供・公開を行っている。	7	4	0	0	0	3.6	3.4
18. 保護者や地域の願いや、学校に対する要望等を聞くなどの機会や工夫をし、情報の収集に努めている。	4	5	2	0	0	3.2	3.6
19. PTA活動のより良い推進のため、教師や保護者が積極的に関わるよう努めている。	6	3	1	0	1	3.5	3.2
20. あなたは、児童の登下校等における安全確保に、地域や保護者とともに積極的に関わるよう努めている。	6	3	1	0	1	3.5	3.4



○自由記述

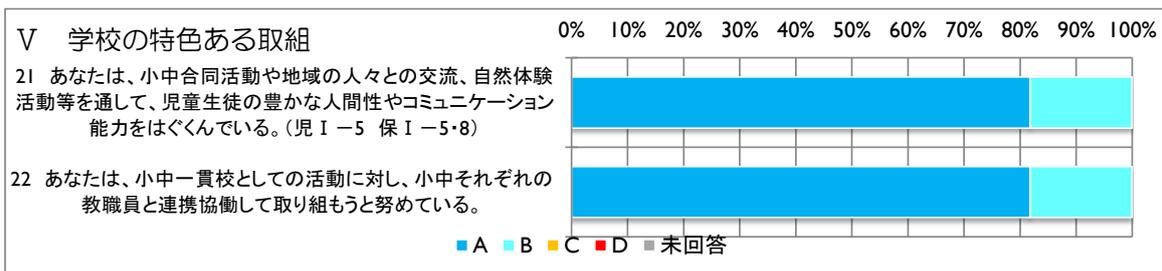
なし

○自己評価（達成状況・改善策）

○保護者や地域の方々への情報提供は、学校だより・学年通信はもちろん、ホームページで公開している。今後、PTA行事などの機会を活かして、保護者・地域との連携をとっていきたい。

V 学校の特色ある取組

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	評価	昨年度評価
21 あなたは、小中合同活動や地域の人々との交流、自然体験活動等を通して、児童生徒の豊かな人間性やコミュニケーション能力をはぐくんでいる。（児I-5 保I-5・8）	9	2	0	0	0	3.8	3.1
22 あなたは、小中一貫校としての活動に対し、小中それぞれの教職員と連携協働して取り組もうと努めている。	9	2	0	0	0	3.8	



○自由記述

なし

○自己評価（達成状況・改善策）

○いずれの項目もポイントが高く、教職員が学校の特色を理解して、教育活動を行っていることが伺える。21の項目は、児童アンケートI-5 保護者アンケートI-5・8と繋がっているが、いずれも高ポイントである。地域密着型の芦安小中ならではの特徴を尊重した教育活動を進めていきたい。

VI その他（自由記述）

なし